

# みんなで築こう人権の世紀

## 考えよう、相手の気持ち

### 未来へつなごう 違いを認め合う心

問い合わせ 市人権政策課 ☎ 43・8129

人権週間には、毎年全国で人権尊重の大切さが呼びかけられます。市でも、人権講演会や街頭啓発活動などさまざまな取り組みを行っています。

#### 12月4日～10日は「人権週間」です

1948年12月10日に国際連合の第3回総会で世界人権宣言が採択され、この日を「人権デー」と定めて人権思想の啓発のための行事を実施するように呼びかけられました。日本では、1949年から毎年12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を展開し、広く国民に人権意識の高揚を呼びかけています。

#### 人権学習会を開催しました

ひまわりを育てることを通して「いのち」や「なかま」の大切さを学ぶために、こみょうの丘、福津いくみ保育園、津屋崎小学校で人権の花



# 税のお知らせ

12月は「STOP 滞納!! 県下一斉 徴収強化月間」です



市では福岡県及び県内市町村と連携し、12月を「県下一斉徴収強化月間」として、差押や滞納処分の強化など、さまざまな徴収対策に取り組みます。この機会に納め忘れた税金がないか今一度確認をお願いします。

▲搜索の様子

市の取り組み 一斉催告、搜索、差押などの滞納処分の強化  
問い合わせ 市収納課 ☎ 43・8119

#### 事業所の皆さんは償却資産の申告が必要ですよ

償却資産とは、土地、家屋以外の事業用の資産です。所得税または法人税の計算税務会計上、減価償却の対象としている資産のことで、固定資産税の課税対象になります。申告しなければならぬ人 償却資産の申告をしなければならない人は、事業を行っている個人事業主及び法人です。農業や漁業などの第一次産業、製造業や建設業などの

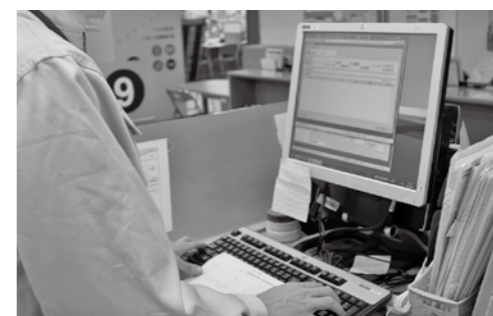
#### 法務局での相続登記が済んでいない人へ

固定資産税の納税義務者は、毎年1月1日時点で、課税の対象となる土地や家屋、償却資産などの固定資産の不動産登記記者である所有者です。た

第二次産業、卸業や小売業、サービス業などの第三次産業の業種を問わず、全ての事業者に申告の義務があります。申告方法 毎年1月1日現在で、事業

に利用している償却資産が申告の対象です。申告書を平成30年1月31日（水）までに市税務課に提出してください。郵送での申告も受け付けます。事業を廃止した場合も申告が必要です。昨年申告した人には、案内のながきを12月上旬に郵送します。申告書の様式が必要な人は、市公式ホームページからダウンロードするか、市税務課にお問い合わせください。また、

だし、所有者が死亡している場合、相続などによる法務局での正式な所有権移転登記が済むまでは、その固定資産を「現実には所有している人」が納税義務者になります。現実には所有している人とは、死亡した人の相続人のことで、各相続人は連帯して納税義務を負います。相続登記が済んでいない場合は、各相続人の中



▲償却資産申告書を入力する様子

パソコン処理などによる独自様式を使用している場合は、その様式で申告しても差し支えありません。問い合わせ 市税務課 ☎ 43・8118



▲津屋崎小学校の児童が歌のお礼

#### 街頭啓発活動を行います

市民の皆さんに声をかけながら命の尊厳や人権の大切さを訴えます。

日程 12月4日（月）  
場所と時間 ①JR福岡駅 午前7時30分②ルミエール福津店 午後1時30分③レガネット福津 午後3時30分

#### 人権ポスター展を開催します

市内外の小学・中学・高校

生の皆さんの人権ポスターや「男女がともに歩む」一行詩の表彰作品を展示します。期間 12月2日（土）～12月10日（日）※月曜日休館 場所 市中央公民館

#### 人権啓発冊子と人権作文集を作成しました

人権啓発冊子と人権作文集を各自治会、公共施設、小学校、中学校、高校などに配布します。ぜひご覧ください。各学校で授業などに活用することができます。

#### 無料電話相談を受け付けます

家庭内のもめごとや隣近所とのトラブル、いじめや差別などを相談できます。相談は人権擁護委員と法務局職員が受け、秘密は固く守られます。日時 12月2日（土）午前9時～午後5時 相談ダイヤル ☎ 0120・889・405 問い合わせ 福岡法務局人権擁護部 ☎ 092・739・4153

#### 人権講演会

### 小よく大を制す

日時 12月9日（土） 13:00～ ※受付 12:30～  
場所 市中央公民館  
講師 舞の海秀平さん



舞の海秀平さんは角界最少の身体ながら、技のデパートの異名のおり「猫だまし」、「八艘飛び」など数々の技をくりだしてファンを驚かせ、1999年の引退までに、技能賞を5回受賞しました。現在は、NHKの大相撲解説者などを務めるほか、テレビ、雑誌、講演会などで幅広く活躍中です。